



2021年3月期 第2四半期決算短信(日本基準)(連結)

2020年10月30日

上場会社名 株式会社 魚力

上場取引所 東

コード番号 7596 URL <https://uoriki.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 山田 雅之

問合せ先責任者 (役職名) 執行役員管理部長 (氏名) 尾後貴 隆

TEL 042-525-5600

四半期報告書提出予定日 2020年11月13日

配当支払開始予定日

2020年11月27日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (アナリスト・機関投資家向け)

(百万円未満切捨て)

1. 2021年3月期第2四半期の連結業績(2020年4月1日～2020年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年3月期第2四半期	14,402	0.5	442	12.8	584	19.4	429	39.9
2020年3月期第2四半期	14,476	6.1	391	53.9	489	17.6	306	48.5

(注) 包括利益 2021年3月期第2四半期 776百万円 (74.2%) 2020年3月期第2四半期 445百万円 (33.0%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年3月期第2四半期	30.78	
2020年3月期第2四半期	22.28	

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2021年3月期第2四半期	17,853	14,905	83.4	1,067.69
2020年3月期	17,073	14,381	84.1	1,030.04

(参考) 自己資本 2021年3月期第2四半期 14,892百万円 2020年3月期 14,365百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年3月期		18.00		18.00	36.00
2021年3月期		18.00			
2021年3月期(予想)				18.00	36.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2021年3月期の連結業績予想(2020年4月1日～2021年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	30,800	0.3	1,280	12.1	1,500	12.9	950	19.0	68.11

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- | | |
|--------------------|-----|
| 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 | : 無 |
| 以外の会計方針の変更 | : 無 |
| 会計上の見積りの変更 | : 無 |
| 修正再表示 | : 無 |

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2021年3月期2Q	14,620,000 株	2020年3月期	14,620,000 株
期末自己株式数	2021年3月期2Q	671,463 株	2020年3月期	673,663 株
期中平均株式数(四半期累計)	2021年3月期2Q	13,947,191 株	2020年3月期2Q	13,779,557 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1.	当四半期決算に関する定性的情報	2
	(1) 経営成績に関する説明	2
	(2) 財政状態に関する説明	3
	(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2.	四半期連結財務諸表及び主な注記	4
	(1) 四半期連結貸借対照表	4
	(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
	四半期連結損益計算書	
	第2四半期連結累計期間	5
	四半期連結包括利益計算書	
	第2四半期連結累計期間	6
	(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
	(継続企業の前提に関する注記)	7
	(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
	(セグメント情報)	7

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国の経済は、新型コロナウイルス感染症拡大の深刻な影響により第1四半期の実質GDP成長率が前期比マイナス7.9%（年率換算マイナス28.1%）となったことの反動から、第2四半期においてはプラス成長が見込まれております。しかしながら、流行の収束を見通すことはできず、なお感染拡大が懸念される状況下にあるため、感染拡大の防止と社会経済活動レベルの引上げを両立させる必要があり、景気の持ち直しは緩やかなものとならざるを得ません。また、小売業界において食品スーパーの業績が比較的堅調である一方、百貨店が出遅れているなど、取扱商品や業種・業態により回復スピードに差が出ております。

水産業界におきましては、国内での魚離れの進行、多くの大衆魚の不漁、海外における魚食の拡がりによる仕入価格の上昇など、当社を取り巻く経営環境は厳しさを増しております。一方、地球的規模において地上からの供給に代わるタンパク質の供給源として、また、国内外において拡がる健康志向などから、養殖業を含む水産業、また、水産物に対する注目度は高まっております。

このような経営環境の中、当社グループにおきましては、中期経営計画（2018―2020年度）の下、「現場の活性化・従業員満足の向上」をめざし、営業・仕入、新規事業、人材、財務といった各事業分野における基本戦略に取り組んでまいりました。

特に、新型コロナウイルス感染症拡大への対応について、売上高が伸びない中でも営業利益を確保できるよう、店舗ごとの人員再配置、店舗運営の一層の効率化などによる経費削減、他方、本社におけるリモートワークの一部導入などの取組みを行ってまいりました。併せて、感染拡大の防止に十分配慮しながら営業の継続・強化に努力してまいりました。

このような中、当社では日常生活に不可欠な食料品を取り扱っていることなどから、既存店客数が回復し、また、まとめ買いの傾向も見られ、6月から9月各単月の既存店売上高前年比が100%を超えるなど盛り返し、第2四半期連結累計期間の既存店売上高は前年並みにまで回復いたしました。

この間、小売事業で2店舗、飲食事業で1店舗を出店した一方、小売事業で4店舗、飲食事業で1店舗を退店し、当第2四半期連結累計期間末の営業店舗数は84店舗となりました。

この結果、当社グループの当第2四半期連結累計期間の売上高は144億2百万円（前年同期比0.5%減）、営業利益は4億42百万円（前年同期比12.8%増）、経常利益は5億84百万円（前年同期比19.4%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は4億29百万円（前年同期比39.9%増）となりました。

セグメントの業績は次のとおりであります。

①小売事業

小売事業では、郊外立地店舗の一部が売上げを大きく伸ばす一方、ターミナル立地店舗を中心に客足が鈍ったため、店舗ごとの新たな繁閑状況に応じ店舗人員を再配置するなどの対応を行いました。また、「生活応援特売」フェアを行うなど仕入・営業が緊密に連携し全店を挙げて品質の高い商品を競争力のある価格で提供できるよう努めました。更に、東京魚市場買参協同組合を通じた販売促進事業に参加するなど出荷量減少や価格下落の影響を受けた漁業者の支援に取り組みしました。

新店は、2020年6月にJR亀戸駅に隣接する「アトレ亀戸」内に「亀戸店」（東京都江東区）、9月に渋谷駅に隣接する商業施設「渋谷マークシティ イースト」内に「渋谷 東急フードショー店」（東京都渋谷区）を開店しております。一方、東急百貨店東横店の営業終了に伴い、2020年9月に「渋谷東急東横店」「渋谷サーモンスクエア店」「渋谷魚河岸店」及び「かげん渋谷東急東横店」（いずれも東京都渋谷区）を退店しております。

この結果、売上高は129億90百万円（前年同期比1.2%減）、営業利益は6億6百万円（前年同期比38.3%増）となりました。

②飲食事業

飲食事業では、緊急事態宣言以降4月から5月に亘り一部を除く店舗が休業を余儀なくされましたが、6月から7月にかけて順次、新型コロナウイルス感染症拡大対策を講じたうえ営業を再開いたしました。しかしながら、8月には感染者急増による東京都の営業時間短縮要請があり、これを受け売上高は大きく影響を受けました。

新店は、2020年7月にJR立川駅に近い複合施設「GREEN SPRINGS」内に「魚力鰯 GREEN SPRINGS店」（東京都立川市）を開店しております。一方、限られた資源の効率的な活用を図るため、2020年7月に「築地魚力郡山店」（福島県郡山市）を退店しております。

この結果、売上高は1億89百万円（前年同期比48.4%減）、営業損失は1億31百万円（前年同期は営業損失1百万円）となりました。

③卸売事業

卸売事業では、子会社の魚力商事株式会社が外食チェーンを中心とした取引先に加え、当社が行っていた国内スーパーマーケットへの卸売を担うよう営業体制を集約いたしておりますところ、新型コロナウイルス感染症拡大により米国への輸出が一時停滞するなどの影響を受ける一方、スーパーマーケット、地方荷受、株式会社最上鮮魚(持分法適用関連会社)など国内向けの売上を伸ばしております。

この結果、売上高は11億89百万円(前年同期比28.3%増)、営業利益は43百万円(前年同期比174.0%増)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第2四半期連結会計期間末における流動資産は87億6百万円となり、前連結会計年度末に比べ80百万円減少いたしました。これは主にその他に含まれる未収入金が6億56百万円、仮払金が3億円増加したものの、現金及び預金が10億75百万円減少したことによるものであります。固定資産は91億46百万円となり、前連結会計年度末に比べ8億60百万円増加いたしました。これは主に投資有価証券が7億59百万円増加したことによるものであります。

この結果、総資産は178億53百万円となり、前連結会計年度末に比べ7億79百万円増加いたしました。

(負債)

当第2四半期連結会計期間末における流動負債は29億17百万円となり、前連結会計年度末に比べ2億58百万円増加いたしました。これは主に賞与引当金が2億22百万円増加したことによるものであります。固定負債は30百万円となり、前連結会計年度末に比べ2百万円減少いたしました。これは退職給付に係る負債が2百万円減少したことによるものであります。

この結果、負債合計は29億48百万円となり、前連結会計年度末に比べ2億55百万円増加いたしました。

(純資産)

当第2四半期連結会計期間末における純資産合計は149億5百万円となり、前連結会計年度末に比べ5億23百万円増加いたしました。これは主にその他有価証券評価差額金が3億45百万円、利益剰余金が1億78百万円増加したことによるものであります。

この結果、自己資本比率は83.4%(前連結会計年度末は84.1%)となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、現時点において2020年7月31日の「2021年3月期 第1四半期決算短信」で公表いたしました通期の連結業績予想に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2020年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	6,144,148	5,068,644
受取手形及び売掛金	2,285,561	2,330,562
商品及び製品	227,371	215,497
原材料及び貯蔵品	7,635	7,754
その他	122,563	1,084,744
貸倒引当金	-	△483
流動資産合計	8,787,279	8,706,720
固定資産		
有形固定資産	1,192,597	1,308,782
無形固定資産	23,577	21,807
投資その他の資産		
投資有価証券	5,136,538	5,895,786
その他	1,933,626	1,920,218
投資その他の資産合計	7,070,165	7,816,004
固定資産合計	8,286,340	9,146,595
資産合計	17,073,620	17,853,315
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,032,274	1,082,151
未払法人税等	356,221	295,720
賞与引当金	236,668	458,949
その他	1,033,633	1,080,832
流動負債合計	2,658,797	2,917,654
固定負債		
退職給付に係る負債	9,372	6,412
その他	24,000	24,000
固定負債合計	33,372	30,412
負債合計	2,692,169	2,948,067
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,563,620	1,563,620
資本剰余金	1,466,286	1,466,656
利益剰余金	12,782,664	12,960,939
自己株式	△971,178	△968,005
株主資本合計	14,841,392	15,023,210
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△465,491	△120,421
為替換算調整勘定	△2,375	△2,708
退職給付に係る調整累計額	△8,300	△7,362
その他の包括利益累計額合計	△476,167	△130,492
非支配株主持分	16,225	12,530
純資産合計	14,381,450	14,905,247
負債純資産合計	17,073,620	17,853,315

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
(四半期連結損益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)
売上高	14,476,693	14,402,752
売上原価	8,672,445	8,592,122
売上総利益	5,804,247	5,810,630
販売費及び一般管理費	5,412,277	5,368,343
営業利益	391,970	442,286
営業外収益		
受取利息	32,711	38,553
受取配当金	51,793	52,350
補助金収入	-	177,424
為替差益	-	62
持分法による投資利益	13,524	30,498
その他	7,191	20,794
営業外収益合計	105,220	319,684
営業外費用		
支払利息	118	-
為替差損	7,388	-
デリバティブ評価損	-	1,519
漁業者支援緊急対策費	-	175,905
営業外費用合計	7,506	177,424
経常利益	489,684	584,546
特別利益		
投資有価証券売却益	100,899	69,383
特別利益合計	100,899	69,383
特別損失		
固定資産除却損	7,153	18,749
投資有価証券売却損	68,518	14,186
投資有価証券償還損	7,291	-
賃貸借契約解約損	4,200	-
特別損失合計	87,162	32,936
税金等調整前四半期純利益	503,421	620,993
法人税、住民税及び事業税	165,459	253,228
法人税等調整額	25,980	△62,749
法人税等合計	191,439	190,479
四半期純利益	311,981	430,514
非支配株主に帰属する四半期純利益	5,039	1,205
親会社株主に帰属する四半期純利益	306,942	429,309

(四半期連結包括利益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)
四半期純利益	311,981	430,514
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	140,759	345,069
為替換算調整勘定	△1,462	△332
退職給付に係る調整額	△3,515	937
持分法適用会社に対する持分相当額	△2,164	—
その他の包括利益合計	133,617	345,674
四半期包括利益	445,598	776,189
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	440,559	774,983
非支配株主に係る四半期包括利益	5,039	1,205

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報)

I 前第2四半期連結累計期間(自2019年4月1日 至2019年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	小売事業	飲食事業	卸売事業	計				
売上高								
外部顧客への 売上高	13,151,644	366,621	926,710	14,444,976	31,716	14,476,693	—	14,476,693
セグメント間 の内部売上高 又は振替高	—	—	77,735	77,735	9,300	87,035	△87,035	—
計	13,151,644	366,621	1,004,445	14,522,711	41,016	14,563,728	△87,035	14,476,693
セグメント利益 又は損失(△)	438,252	△1,863	16,015	452,404	16,468	468,873	△76,902	391,970

- (注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれていない事業セグメントであり、テナント事業であります。
 2. セグメント利益又は損失(△)の調整額△76,902千円には、セグメント間取引消去△9,530千円及び各報告セグメントに配分していない全社費用△67,372千円が含まれております。全社費用は、主に総務・財務経理部門等の管理部門に係る費用であります。
 3. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第2四半期連結累計期間(自2020年4月1日 至2020年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	小売事業	飲食事業	卸売事業	計				
売上高								
外部顧客への 売上高	12,990,410	189,346	1,189,310	14,369,067	33,684	14,402,752	—	14,402,752
セグメント間 の内部売上高 又は振替高	—	—	64,873	64,873	9,300	74,173	△74,173	—
計	12,990,410	189,346	1,254,183	14,433,941	42,984	14,476,926	△74,173	14,402,752
セグメント利益 又は損失(△)	606,264	△131,379	43,884	518,768	19,357	538,125	△95,838	442,286

- (注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれていない事業セグメントであり、テナント事業であります。
 2. セグメント利益又は損失(△)の調整額△95,838千円には、セグメント間取引消去△10,610千円及び各報告セグメントに配分していない全社費用△85,228千円が含まれております。全社費用は、主に総務・財務経理部門等の管理部門に係る費用であります。
 3. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。